

福井県代協(水野文紀会長)では7月17日、福井県立武生高校で安全教育出前講座「『車社会』だから伝えて欲しいこと」を開催した。今回の講座は、これまでの高校3年生を対象としたものとは違い、約100名の教職員向けに行った。

同代協は、平成23年度から、これから車社会に参加する高校生に、対し安全運転を啓蒙する出前講座を開始。受講生徒数は累計3,529名となり、年々開催校も増え、社会貢献活動の一つとして定着している。今回は、教職員向けということで「伝える」だけでなく



大 武生高校で出前講座
受 教職員向けに初開催
験 福井県代協

ならず、生徒に「伝えてもらう」ということを念頭に置いて取り組んだ。初開催となった教職員向けの講座を終えた感想を、同代協出前講座プロジェクトチームの辻大助氏は「県内トップクラスの進学校でもある同校のように、多くの3年生が武生高校で出前講座教職員向けに初開催は、3年生を対象とした講座を行うことを難しく思っていた。しかし今回、教職員向けに講座を行ったことで、先生一人ひとりが『車社会に出ることの責任の重大さ』を改めて認識していただけたと思う。私たちが伝えたいその思いを、先生から生徒の皆さんに伝えていただく、それは、先生方や生徒のみならず、家族や知り合いの方などたくさんの方々に『伝えていかなくてはいけないこと』として心に響いたからではないでしょうか。これから、一人でも多くの生徒に伝えていくことが必要であると強く感じました」と話す。